

世界初の機構を持つ 2 ルーム CT 導入

東芝メディカルと共同開発、効率運用が可能に

【本件のポイント】

- 本学総合医療センター救命救急センターに導入
- 独自のスライド機構を東芝メディカル社※と共同開発
- カテーテル手術中も、別室で自由に CT 撮影が可能

※東芝メディカルシステムズ株式会社

学校法人関西医科大学（大阪府枚方市、理事長・山下敏夫、学長・友田幸一）総合医療センター（守口市、病院長・岩坂壽二）救命救急センター（救急医学講座診療教授・中森靖）は、7/4（火）から東芝メディカルシステムズ株式会社（栃木県大田原市、社長・瀧口登志夫）と共同で開発した、世界初の標準 CT 組合せ型 IVR-CT を導入し、2 ルーム Hybrid Emergency Room(ER)の稼働を開始しました。Hybrid ER とは、救急初療室に IVR-CT を装備して手術・カテーテル治療・CT 検査を同一寝台上で可能にするシステムで、中森診療教授らが考案・普及に努めてきました。

これまで Hybrid ER では、術中に CT を使用しない場面では CT 架台を部屋の隅に移動させ、待機させておくだけでした。今回開発した「標準 CT 組合せ型 IVR-CT」では、CT 架台を別室へ移動させ、CT 寝台と組み合わせることで CT 装置単体として稼働させることが可能です。CT 架台をスライドさせながら行う撮影ではなく、天板が移動



今回導入される装置

して撮影するモードを備えることで、通常 CT と全く同じ検査が可能となります。

高度救命医療の追求と限られた医療資源の有効活用という、相反する救急現場のニーズに応える新たなソリューションが、救命救急医療の発展に寄与するものと期待されます。



2 ルーム CT のレイアウト

【本件取材についてのお問合せ】

学校法人 関西医科大学 広報戦略室（田村、岡田、畑森、佐脇）

〒573-1010 大阪府枚方市新町2-5-1

電話：072-804-2128 ファクス：072-804-2344 メール：kmuinfo@hirakata.kmu.ac.jp